＜第 4372 回＞
目的地：恵那山(岐阜)
担当者：松岡
実施日：2023 年 5 月 27 日(土)～28 日(日)
形　式：小屋泊
費　用：¥17,420.-
参加者：4 名

天　気：晴れ
行　程：
5/27(土)
<高速バス>大阪駅(7:20)⇒(10:35)名古屋駅 <JR>中央本線 名古屋(10:45)⇒(12:08)中津川
<タクシー>中津川駅(14:00)⇒ (15:00) 萬岳荘宿泊
5/28(日) 神坂峠コースをピストン
萬岳荘(4:05)→(4:12)神坂峠→(4:39)千両山→(5:08)鳥越峠→(6:09)大判山→(6:59)天狗ナギ→(8:16)前宮コース分岐→(8:41)恵那山(9:48)→(10:10)前宮コース分岐→(11:00)天狗ナギ→(11:46)大判山→(12:32)鳥越峠→(13:07)千両山→(13:32)神坂峠→(13:42)萬岳荘
<タクシー>萬岳荘(15:30)⇒(16:00)クアリゾート湯舟沢 <路線バス>中切(16:55)⇒(17:15)中津川駅
<JR>中央本線 中津川(17:55)⇒名古屋(19:20) <高速バス>名古屋駅(19:45)⇒(22:35)大阪駅　解散

感　想：
5/27(土)
　初日は、移動のみで、登山コースの出発地の神坂峠にある、萬岳荘に宿泊しました。名古屋までの高速バスでは、バスの故障があり、長田で代車に乗り換えました。また、途中、渋滞もあり、Ｙさんの一声で当初の列車の時刻に間に合いましたが、昼間の高速バスは遅延のリスクがあることを考慮できていませんでした。中津川は、栗きんとんの発祥地だと初めて知りました。中津川駅から萬岳荘までは、タクシーで移動、上りの車道は、細くカーブも多く、そして長く(1 時間くらい)、タクシーの運転手も運転するのが大変そうでした。山小屋の萬岳荘は、管理人が、日本一快適な山小屋を目指していると言われるとおり、布団、給湯器も使え、快適で、朴葉寿司作りの体験イベントもあり、大満足でした。

5/28(日)
　長野県阿智村の日本一の星空を見るために、朝 3 時に起床しましたが、雲で、天の川は全く見えませんでした。残念！気を取り直して、朝 4 時に出発。しかし、千両山(パノラマ山頂)では、南アルプスの山々(聖岳、赤石岳)の素晴らしい景色が見えて感動しました。目的地の恵那山も見えました。本日のコースは、神坂峠～恵那山までピストン(往復)ですが、千両山からは、いきなりの下りで、行きの下りは、帰りの上りになるので、できるだけ体力を温存しておかねばと思いました。途中、中央アルプス(御嶽山、乗鞍岳)も、時々、雲の間から見えました。「ナギ」という地名の場所が多く、ナギとは、頻繁な山崩れなどで、土壌が露出している場所ということをＹさんから教えてもらいました。道は明瞭で迷うところも、危険な箇所もありませんでしたが、上りと下りの繰り返しで、恵那山は見えるけど、なかなか着かないという感じで、特に、天狗ナギから前宮コース分岐の上りは、長くキツかったです。前宮分岐の手前には、梅花黄蓮(ばいかおうれん)の花畑があり、綺麗で癒されました。稜線に出た後、途中に最高点があり、写真撮影しました。避難小屋では唯一景色がよかったですが、富士山までは見えませんでした。最後の三角点では、展望はありませんでした。昼食後、元のコースを引き返しましたが、帰りも、長く、上りもあり、心が折れそうでした。ただ、今回、小屋に荷物をデポし、軽量装備で行動したこと、また、当初の計画より、朝 1 時間早く 4 時に出発したので、時間に余裕があり、適度に小休憩をとれたのがよかったです。恵那山は展望が無いので人気がないと言われますが、若い登山者が多かったような気がしました。下山後、温泉で疲れを癒し、お土産屋で、栗きんとんを買い、中津川駅で、Ｇさんお勧めのそばを食べ、帰阪しました。貴重な経験ができました。参加者の皆さん、ありがとうございました！

特　記：
　恵那山に登るなら、萬岳荘での前泊がお勧めです。費用は素泊まり 4000 円と安く、サービスが充実です。